

## 第8回 全国柔道事故被害者の会シンポジウム

# 「柔道事故をどうなくすか」

当会のシンポジウムでは、これまで柔道事故についてその事故の多さと事故率の高さに警鐘を鳴らし、柔道の安全確保について様々な見地より訴えてきました。幸いにして、柔道事故による死亡者は減少をしておりますが、重大な事故は最近でも発生し、また重大事故に繋がる暴力的な要素を含む指導の話も当会にも後を絶たず入ってまいります。

重大な柔道事故の大半は脳損傷によるものですが、柔道では他の競技に比べて熱中症の発生率も高いといわれています。今回のシンポジウムでは、柔道事故をもう一度根底から考え、柔道事故の全体像を捉えた上で、何が危険なのか、どのような指導が事故に繋がるのか、指導者は重大事故を防ぐために何に留意をすべきなのかをテーマにシンポジウムを開催し、柔道による重大事故ゼロの実現の一助としたいと考えています。

また、今回のシンポジウムは、公式に全柔連からの登壇者を迎え、安全への取り組みについて全柔連とともに考える初めてのシンポジウムとなります。柔道の安全実現のための記念すべきシンポジウムにしたいと思っております。多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。

開催日：2014年6月29日(日) 時間：12時00分～16時30分  
場所：日本青年館 501会議室 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘7番1号

### 講演予定者 (順不同)

1. 内田 良 氏 「柔道で起きる事故 — 頭部外傷から熱中症まで —」  
名古屋大学大学院教育発達科学研究科・准教授
2. 野地 雅人 氏 「スポーツ頭部外傷と脳神経外科医の対応 — 予防から競技復帰について —」  
神奈川県立足柄上病院脳神経外科部長／神奈川県アマチュアボクシング医事委員会委員長／  
神奈川県体育協会医科学委員会委員／日本体育協会公認スポーツドクター
3. 田中 義之 氏 「心臓震盪による突然死」  
全国柔道事故被害者の会 副会長
4. 事故被害者家族からの報告
  - ・澤田 佳子 氏 (長野県松本市柔道教室事故被害者母)
  - ・村川 弘美 氏 (滋賀県秦荘中柔道事故被害者母)
5. 正木 照夫 氏 「安全指導とは—指導における体力、力の抑制について」  
柔道8段／正木道場館長／元全日本柔道連盟総務副委員長として柔道事故の調査を担当／拓殖大学客員教授
6. 溝口 紀子 氏 (パネルディスカッション コーディネーター)  
静岡文化芸術大学准教授／静岡県教育委員会委員長職務代理／バルセロナ五輪銀メダリスト／スポーツ社会学者

参加費：1,000円 (資料代は含まれません)

#### 資料について

シンポジウムで配布する資料につきましては、事前に当会のサイトよりPDFにてダウンロードできるようにいたしますので、シンポジウム当日にはダウンロードいただいた資料をプリントいただくか、ダウンロードいただいたPC等をご持参いただきご参加くださいますようお願いいたします。また、シンポジウム当日に資料が必要な場合につきましては、別途資料のプリント費をお支払いいただくことをご提供させていただきます。ご了承賜りますようお願いいたします。

#### ■ お申し込み・お問い合わせ

シンポジウムへのお申し込み(先着120名様)・お問い合わせは、  
当会のホームページよりお願い致します。

主催：全国柔道事故被害者の会

<http://judojiko.net>